

感染症法の対象となる感染症の定義・類型等

感染症法では、感染力と、罹患した場合の重篤性に基づく総合的な観点から、感染症を一類から五類に類型化し、それぞれに対して行政的な対応、措置を定めている。

類型	性 格	主な対応・措置
一類感染症	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症	<ul style="list-style-type: none"> ・原則入院 ・消毒等の対物措置 (例外的に、建物への措置、通行制限等の措置も適用対象)
新型インフルエンザ等感染症	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに人から人に伝染する能力をもったウイルスを病原体とするインフルエンザで、全国的かつ急速なまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの及び再興型インフルエンザ ・新たに人から人に伝染する能力をもったコロナウイルスを病原体とする感染症で、全国的かつ急速なまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの及び再興型コロナウイルス感染症 	<ul style="list-style-type: none"> ・原則入院 ・消毒等の対物措置 (例外的に、建物への措置、通行制限等の措置も適用対象)
二類感染症	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じて入院 ・消毒等の対物措置
三類感染症	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起し得る感染症	<ul style="list-style-type: none"> ・特定職種への就業制限 ・消毒等の対物措置
四類感染症	人から人への感染はほとんどないが、動物、飲食物等の物件を介して感染するため、動物や物件の消毒、廃棄などの措置が必要となる感染症	<ul style="list-style-type: none"> ・動物の措置を含む消毒等の対物措置
五類感染症	国が感染症発生動向調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を一般国民や医療関係者に提供・公開していくことによって、発生・拡大を防止すべき感染症	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症発生状況の収集・分析とその結果の公開、提供
指定感染症	既知の感染症の中で上記一～三類に分類されない感染症において一～三類に準じた対応の必要が生じた感染症	<ul style="list-style-type: none"> ・一～三類感染症に準じた入院対応や消毒等の対物措置を実施 (適用する規定は政令で定める)
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既知の感染症と症状等が明らかに異なり、その感染力及び罹患した場合の重篤度から判断した危険性が極めて高い感染症	(当初) 都道府県知事が厚生労働大臣の技術的指導・助言を得て個別に応急対応 (緊急時は厚生労働大臣が都道府県知事に指示) (政令指定後) 政令で症状等の要件指定した後に、一類感染症に準じた対応

＜＜感染症法の対象として規定されている感染症＞＞

(※は獣医師からの届出対象疾患)

☐ : 全数報告疾患
☒ : 診断後直ちに届出を行う疾患

一類感染症

※	1	エボラ出血熱
	2	クリミア・コンゴ出血熱
	3	痘そう
	4	南米出血熱
※	5	ペスト
※	6	マールブルグ熱
	7	ラッサ熱

二類感染症

※	8	急性肺白髄炎（ポリオ）
	9	結核
	10	ジフテリア
	11	重症急性呼吸器症候群（SARSコロナウイルス）
※	12	中東呼吸器症候群（MERS）
※	13	鳥インフルエンザ（H5N1）
※	14	鳥インフルエンザ（H7N9）

三類感染症

※	15	コレラ
	16	細菌性赤痢
	17	腸管出血性大腸菌感染症
	18	腸チフス
	19	パラチフス

五類感染症（全数報告）

	64	アメーバ赤痢
	65	ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）
	66	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症
	67	急性弛緩性麻痺（ポリオを除く）
	68	急性脳炎（四類感染症における脳炎を除く）
	69	クリプトスポリジウム症
	70	クロイツフェルト・ヤコブ病
	71	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
	72	後天性免疫不全症候群（無症状病原体保有者を含む）
	73	ジアルジア症
	74	侵襲性インフルエンザ菌感染症
	75	侵襲性髄膜炎菌感染症
	76	侵襲性肺炎球菌感染症
	77	水痘（入院例に限る）
	78	先天性風しん症候群
	79	梅毒（無症状病原体保有者を含む）
	80	播種性クリプトコックス症
	81	破傷風
	82	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症（VRSA）
	83	バンコマイシン耐性腸球菌感染症（VER）
	84	百日咳
	85	風しん
	86	麻疹
	87	薬剤耐性アシネトバクター感染症（MRAB）

四類感染症

	20	E型肝炎
※	21	ウエストナイル熱
	22	A型肝炎
※	23	エキノコックス症
	24	エムボックス
	25	黄熱
	26	オウム病
	27	オムスク出血熱
	28	回帰熱
	29	キャサスル森林病
	30	Q熱
	31	狂犬病
	32	コクシジオイデス症
	33	ジカウイルス感染症
	34	重症熱性血小板減少症候群（SFTSウイルスに限る）
	35	腎症候性出血熱
	36	西部ウマ脳炎
	37	ダニ媒介脳炎
	38	炭疽
	39	チクングニア熱
	40	つつが虫病
	41	デング熱
	42	東部ウマ脳炎
	43	鳥インフルエンザ（H5N1、H7N9を除く）

五類感染症（定点把握）

インフルエンザ／COVID-19定点（週報）

90	インフルエンザ（鳥インフルエンザ、新型インフルエンザ等感染症を除く）
96	新型コロナウイルス感染症（病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る）

小児科定点（週報）

88	RSウイルス感染症
89	咽頭結膜熱
91	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
92	感染性胃腸炎
97	水痘
101	手足口病
102	伝染性紅斑
103	突発性発しん
105	ヘルパンギーナ
111	流行性耳下腺炎

新型インフルエンザ等感染症

※	113	新型インフルエンザ
※	114	再興型インフルエンザ
※	115	新型コロナウイルス感染症
※	116	再興型コロナウイルス感染症

44	ニパウイルス感染症
45	日本紅斑熱
46	日本脳炎
47	ハンタウイルス肺症候群
48	Bウイルス病
49	鼻疽
50	ブルセラ症
51	ベネズエラウマ脳炎
52	ヘンドラウイルス感染症
53	発しんチフス
54	ボツリヌス症
55	マラリア
56	野兎病
57	ライム病
58	リッサウイルス感染症
59	リフトバレー熱
60	類鼻疽
61	レジオネラ症
62	レプトスピラ症
63	ロッキー山紅斑熱

眼科定点（週報）

93	急性出血性結膜炎
110	流行性角結膜炎

基幹定点（週報）

90	インフルエンザ（鳥インフルエンザ、新型インフルエンザ等感染症を除く）
92	感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）
94	クラミジア肺炎（オウム病を除く）
95	細菌性髄膜炎
106	マイコプラズマ肺炎
107	無菌性髄膜炎

基幹定点（月報）

104	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症
108	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症（MRSA）
109	薬剤耐性緑膿菌感染症

性感染症定点（月報）

98	性器クラミジア感染症
99	性器ヘルペスウイルス感染症
100	尖圭コンジローマ
112	淋菌感染症

指定感染症

なし